

Japanese Graded Readers

レベル別 日本語多読 ライブラリー



にほんごよむよむ文庫

レベル **2** vol.2 6

富士山

ふ
じ
さん



かわぐちこ み ふじさん
河口湖から見える富士山

作 = 栗野 真紀子

挿絵 = 霧生 さなえ

監修 = NPO法人日本語多読研究会

にほんご よむよむ文庫 レベル 2

ふ じ さ ん
富士山

作 (さく) : 栗野 真紀子 (あわの まきこ)

挿絵 (さしえ) : 霧生 さなえ (きりう さなえ)

監修 (かんしゅう) : NPO 法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

<監修者紹介>

NPO 法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、日本語教師が集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」の授業の実践・研究をしたりしています。http://www.nihongo-yomu.jp

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル2] vol.2

富士山

2007年6月1日 初版 第1刷 発行

2011年6月20日 初版 第2刷 発行

著者：栗野 真紀子 (日本語多読研究会会員・日本語教師)

作画：霧生 さなえ

監修：NPO 法人 日本語多読研究会

ナレーション：山中 一徳

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：浅妻 健司

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町 2-6

TEL.03-3267-6864 http://www.ask-digital.co.jp

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

©NPO法人日本語多読研究会 2007

Printed in Japan ISBN978-4-87217-642-1

にほんご よむよむ文庫 レベル 2

ふ じ さ ん
富士山

作（さく） ： 栗野 真紀子（あわの まきこ）

挿絵（さしえ） ： 霧生 さなえ（きりう さなえ）

監修（かんしゅう）：NPO 法人 日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）



日本一の山 にほんいちやま

日本人は、富士山が大好きです。

外国でも富士山は有名です。

どうしてでしょう？

それは、富士山が日本で一番高く、とてもきれいな山だからです。

三三七メートルあります。

そばに高い山がありませんから、富士山は、遠くからもよく見えます。

きれいな富士山が見えると、とてもうれしくなります。

河口湖から見える富士山

<写真提供>四季の富士：菅沼恒夫
<http://g-news.jp/fujisan>







富士山がいっぱい



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」1832年頃
 所蔵：江戸東京博物館

Image : Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture Image Archives

たくさんの方が、富士山の絵を描いたり、歌を作ったりしています。

葛飾北斎（一七六〇～一八四九年）は、有名な画家（絵を描く人）です。

いろいろなところから見えます

富士山の絵をたくさん描きました。

お札にも「富士山」があります。

お風呂屋さんにも「富士山」があります。

「富士見町」や「富士見台」など、名前に

「富士」が入っている町もたくさんあります。

「富士ワイルム」や「富士電気」

「フジテレビ」など、

名前に「富士」が

入っている会社も

たくさんあります。

富士山は、

今も昔も、日本人の

生活の中にあるのです。



せんえんさつ ふじさん
千円札の「富士山」



ふろや ふじさん
お風呂屋さんの「富士山」



富士山と近くの森や湖

富士山の近くには、森や湖、

そして温泉もたくさんあります。



せんえんさつ ふじさん
千円札の富士山は、
み ふじさん
ここから見た富士山。

しょうじこ
精進湖

なるさわひまうけつ
鳴沢氷穴

かゆぐちこ
河口湖

もとすこ
本栖湖

さいこ
西湖

あおきがはらじやかい
青木ヶ原樹海

ようかん うえ もり
溶岩の上にてきた森。

ふじふうけつ
富士風穴

ようかん
溶岩でできた。
なつ すず
夏でも涼しい。

あさぎりこうげん
朝霧高原

ふじさん
富士山

しらいとのたき
白糸の滝

ふじさふありはーく
富士サファリパーク



富士山ふじさんの誕生たんじょう

まんねんまえ
70万年前



富士山ふじさんは、どうやって

できたのでしょうか？

やくななじゅうまんねんまえ
約七十万年前のことです。

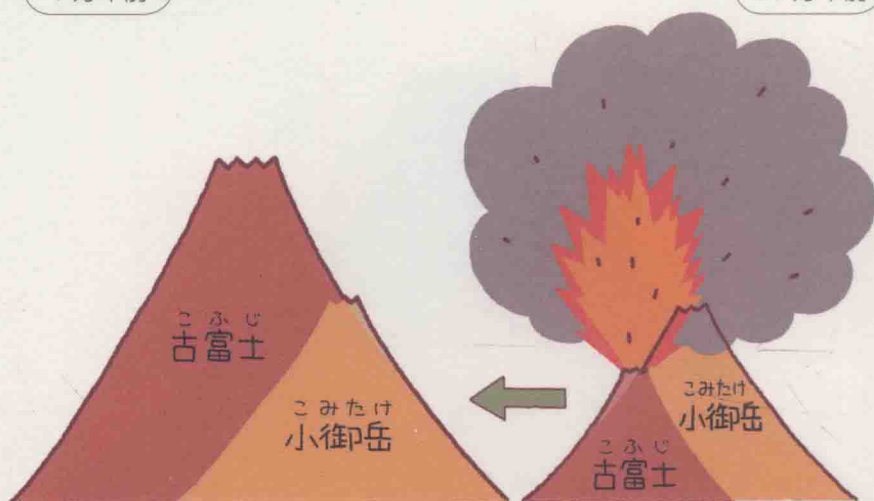
ちか
地下で生まれたマグマまぐまが噴火ふんかして、

ひと
一つの火山かざんが生まれました。

こみたけ
「小御岳」です。

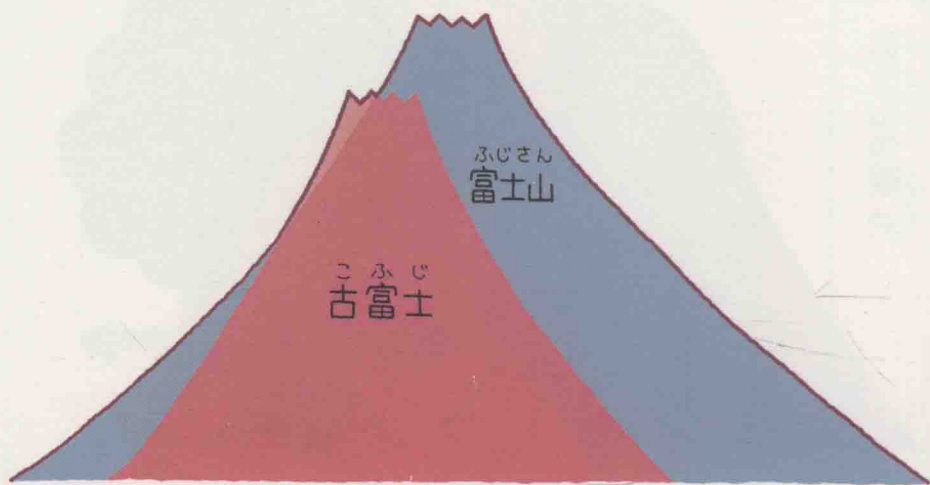
まんねんまえ
1 万年前

まんねんまえ
10 万年前



やくじゅうまんねんまえ
約十萬年前、「小御岳」が噴火して、
もう一つの火山が生まれました。
「古富士」です。
「古富士」は、何回も噴火しました。
噴火して出てきたたくさんの
灰や、熱い溶岩で、
古富士は、とても高くなりました。
一万年には、高さ三千メートルに
なりました。

せんねんまえ
5、6 千年前



やくご 約五、六千年前、ろくせんねんまえ「古富士」こふじは、

また、なんかい何回も噴火ふんかしました。

そして、おおもっと大きくなつて、

たか高くてきれいな山やまになりました。

これが、いま今の「富士山」ふじさんです。

富士山は、わかまだ若い火山かざんなのです。



富士山は、小御岳、古富士の上にできました。

富士山の中に、小御岳、古富士の

ふたつの山があるので。

二〇〇四年には、富士山の中に

もう一つ、山があることがわかりました。

「先小御岳」です。



はつびやく はつびやくななじゅうねん だいふんか
 八〇〇〇 八七〇年の大噴火

はつびやくねん はつびやくななじゅうねんごろ
 八〇〇年から八七〇年頃までの噴火で、

ふじごこ
 「富士五湖」ができました。

ようがん なが で かわ はい
 溶岩が流れ出て川に入ると、水の流れが止まります。

かわぐちこ やまなかこ
 それで、「河口湖」と「山中湖」ができました。

もとすこ
 また、「本栖湖」の隣にあった

おお おお
 大きな湖に、溶岩が流れてきて、

さいこ しやうじこ
 「西湖」と「精進湖」を作りました。

さいこ しやうじこ
 「西湖」と「精進湖」を作った溶岩の上には、

もり
 森ができました。

あおき が はらしゆかい
 それが、「青木ヶ原樹海」です。



やまなかこ
 山中湖

さいこ
 西湖

もとすこ
 本栖湖

しやうじこ
 精進湖

かわぐちこ
 河口湖



せんなんひやくななねん だいふんか
一七〇七年の大噴火

せんなんひやくななねん
一七〇七年にも、大きな噴火が起きました。

たくさんはいの灰にしゅうかんが二週間も降って、

富士山ふじさんのそばにあった村は、

灰はいの下したになりました。

江戸えど（今の東京とうきょう）にも灰はいが飛とんできて、

昼ひるでも暗くらくなりました。

それから、三百年さんびゃくねん、

富士山ふじさんは噴火ふんかしていません。

今は、とても静しずかです。

次つぎは、いつ噴火ふんかするのでしょうか？





登のぼってみましょう！

富士山ふじさんは、七月しちがつと八月はちがつに登のぼることができます。

毎年まいとし、二十万人にじゅうまんにんぐらいのひとひとが富士山ふじさんに登のぼります。外国人がいこくじんも、とても多いおほいです。

富士山ふじさんは、だれでも登のぼることができますが、上うへの方は空気くうきが薄うすいですから、

頭あたまが痛いたくなる人ひともいます。休やすみながら、ゆつくりゆつくり登のぼりましょう。

登のぼり口ぐちは、四よつつあります。「富士宮口ふじのみやぐち」「須走口すばしんち」「御殿場口ごてんばぐち」「河口湖口かわぐちこぐち」です。

「河口湖口かわぐちこぐち」から登のぼってみましょう。

五合目ごごうめまでは、車くるまやバスばすで行くいことができます。

五合目ごごうめから山やまの一番上いちばんうへまで、六時間ろくじかんから七時間しちじかんぐらいかかります。

お昼頃ひるごろから登のぼり始はじめて、その日ひは山小屋やまごやで寝ねます。

次つぎの日ひの朝あさ早く、山やまの上うへまで登のぼって、朝日あさひを見る人ひとが多いおほいです。